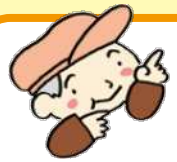
世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例



大切にしたい思い

- 障害があってもなくても人の命の大切さは同じだから
  みんなが大切な命にふさわしい
  生きがいのある生活ができるようにしよう

- 障害があることなど
  どんな理由でもだれかをいじめたり
  軽べつしたりしてはいけない（差別の解消）

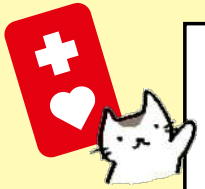
- 障害があるためにその人がしたいことができないのはよくないから
  さまざまな工夫をして障害のない人と同じようにくらせるようにしよう
  （合理的配慮・差別の解消）

- いろんな人が同じ町でくらしているから
  個性をみとめ合おう（多様性・インクルーシブ）

- 「障害」は、障害者ではなく
  バリアのある社会のほうにあるんだ（障害の社会モデル）

- その人が自分でしたいことを決め
  自分らしい生活を送ることができるように
  必要な手助けをしよう（自己決定権の尊重）

全ての人が楽しくともに生きる町を、みんなで作っていきましょう



ヘルプマークの
お問い合わせ
こちらまで

企画制作：世田谷区障害福祉部
障害施策推進課施策推進担当
〒154-8504　世田谷区世田谷 4-21-27
電話 03-5432-2385 /FAX03-5432-3021
広報印刷物登録番号 No.2224

第１版　令和６年３月発行　　デザイン：ひいらぎ舎

障害があってもなくても

すべての人がともに生きる町

世田谷区

町には、いろいろな障害がある人がくらしています。

町には障害のある人がこまるバリア（＝かべという意味）
もたくさんあるので、お手伝いや工夫が必要だね。
どんなことがあるか見てみよう。

1 横断はドキドキハラハラ

視

目が見えない人、見えづらい人は、
信号が青になったことや
わたる方向がわからなく
なることがあります。

【案内する時】
「いっしょにわたりましょうか？」と声をかけて、かたか、うでにつかまってもらいます。

少し前を歩きます。

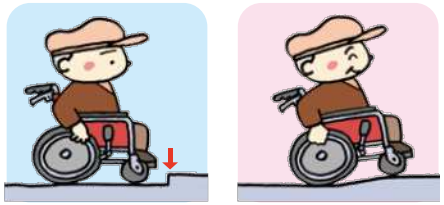
右側に花だんがあります

「あちらに」「そこに」ではなく具体的に知らせます。

2 車いす、小さな段でも通れない

肢

車いすで通るためにはスロープが必要です。



3 盲導犬はお仕事中

視

盲導犬は、進む方向やきけんを知らせる大切なお仕事中です。さわったり、じっと見たりしてはいけません。

4 お買い物でこまってしまう

知

会話や計算が苦手な人にはお手伝いが必要です。

5 メニューが見えない

視

目が見えない人は、かべにはってあるメニューやタブレットは読めないので、声で読み上げたり点字メニューを用意したりします。

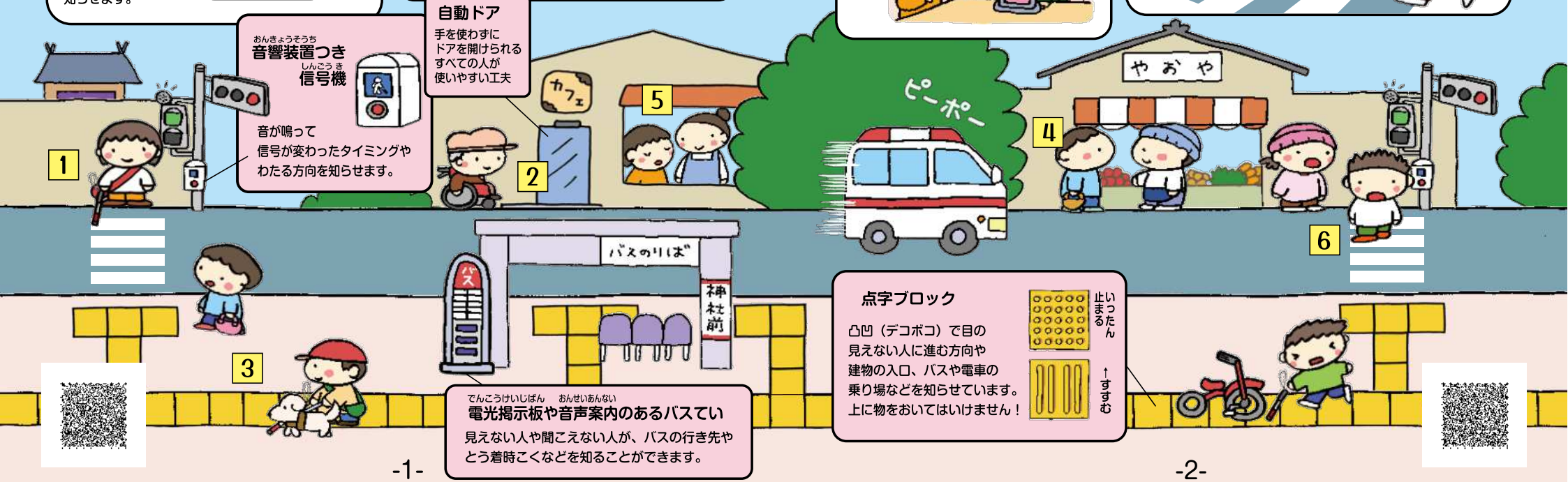
6 車の近づく音が聞こえない

聴

耳の障害があって後ろから来る車の音や、きん急車両のサイレンが聞こえず、きけんな場合があります。あぶない時は周りの人が知らせなければいけません。

こまりやすいのは
こんな障害の人たちニャ

- 視 視覚障害 見えない、見えづらい
- 聴 聴覚障害 聞こえない、聞こえづらい
- 肢 肢体不自由 体（手足）の障害
- 知 知的障害 学習などの発達がゆっくり



音響装置つき信号機
音が鳴って信号が変わったタイミングやわたる方向を知らせます。

自動ドア
手を使わずにドアを開けられるすべての人が使いやすい工夫

電光掲示板や音声案内のあるバスてい
見えない人や聞こえない人が、バスの行き先やとう着時こくなどを知ることができます。

点字ブロック
凸凹（デコボコ）で目の見えない人に進む方向や建物の入口、バスや電車の乗り場などを知らせています。上に物をおいてはいけません！

7 放送が聞こえない

聴

駅や電車の中の放送が聞こえない人は電車のおくれや止まっている理由がわかりません。

できる方法で知らせよう↑

周りの音を大きくして聞こえやすくする機器。つけていてもすべての音が聞こえるわけではありません。聴覚障害があってもつけていない人もいます。

補聴器

電光掲示版や音声案内

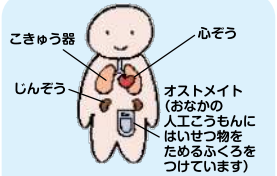
文字や音で電車のじょうほうを案内します。

8 見た目ではわかりにくい障害

内

内部障害の人は内ぞうの病気が理由で、つかれやすく立っているのがつらい時があります。障害があることに気づいてもらえないことがあります。

席をゆずりましょう



いろいろな病気があります

ヘルプマークについては７ページを見てね

9 駅にもきけんな場所があります

視

目が見えない人は、ホームから落ちるなどのきけんが多い場所です。

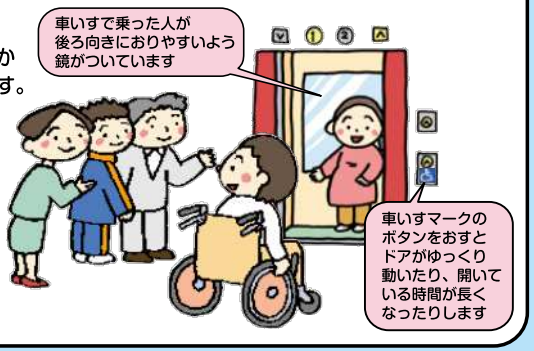
あぶない時は体にさわって止めます。

安全を守るホームドアがふえています。

10 車いすはエレベーターでないと他の階に行けません

肢

いつも満員だとなかなか乗れないことがあります。車いすが乗るためには数人分の場所をあけなければいけません。ゆずれる人は何人かまとまってゆずりましょう。



11 高い所、とどかない

肢

車いすに乗っている人は高いところのものを取れません。お手伝いが必要です。

12 いろいろな車いすがあることを知ろう

肢

ストレッチャータイプの車いす

せまい場所は通れません。通路や歩道に物が置かれているとこまります。

子ども用の車いす

歩行がむずかしい子どものための車いすです。ベビーカーではありません。

バリアフリートイレ

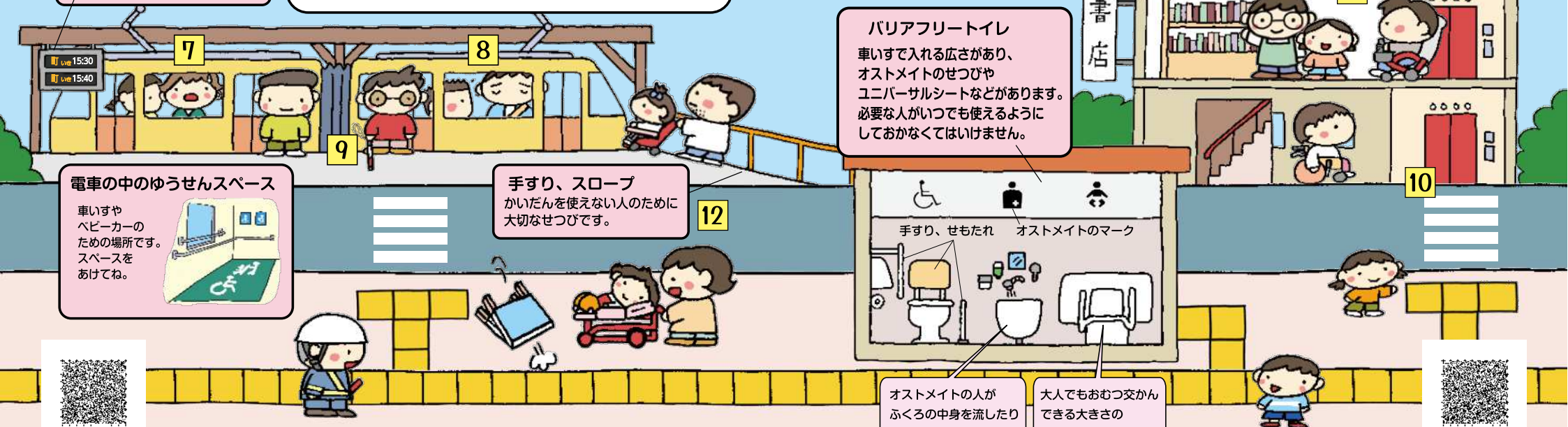
車いすで入れる広さがあり、オストメイトのせつびやユニバーサルシートなどがあります。必要な人がいつでも使えるようにしておかなくてはいけません。

電車の中のゆうせんスペース

車いすやベビーカーのための場所です。スペースをあけてね。

手すり、スロープ

かいだんを使えない人のために大切なせつびです。



視 視覚障害
聴 聴覚障害
肢 肢体不自由
内 内部障害

13 ゆっくり心を休めよう

精

精神障害は心の病気と言われています。心のパワーが落ちて何もできなかったり、気持ちをコントロールできなくなったりします。

14 24時間、命を守るケア

医

障害や病気があるために
さまざまな医療的ケアの必要な人がいます。

人工こきゅう器などを使っている人は電気がないと命に関わるのでバッテリーなどそなえが必要です。

口からごはんを食べられない時は管からとります。

15 とくいも苦手もいろいろあります

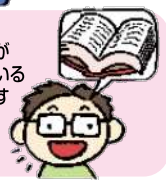
発

発達障害の人は生まれつきの脳の特ちょうで、音や光にびん感だったり会話が苦手だったりします。育ち方やせいかくのせいではありません。

聞こえる音をへらすヘッドホンをつける場合もあります

目が合わないこともあります

記おく力がすぐれている人もいます



16 さい害の時

聴

さい害の時、耳が聞こえない人に、ぼうさい放送やラジオのじょうほうを知らせます。

17 白杖 SOS

視

視覚障害者の「助けて」のサインです。

聞こえない人とのコミュニケーションはさまざま

聴

18 手話は大切な「言葉」です！

表じょうと手の動きで気持ちも伝わります

19 くちびるの動きを読む口話、文字で伝える筆談など。

口をはっきりあけてゆっくり話します。声も出します。

20 後ろからよんでも気づけないのでそっとかたをたたきます。

視 視覚障害
聴 聴覚障害
知 知的障害
医 医療的ケア
発 発達障害
精 精神障害

21 会話が苦手でも言っていることはわかります

知

ルールなどがむずかしい時はゆっくりわかりやすい言葉で伝えます。

まわりの人の気持ち、たいどは伝わります

22 具体的に伝えるとわかりやすいです

発

あいまいな言葉だとこまってしまうかも…

「何を」「どうするか」具体的に伝えてください。

点字案内板

さわってわかる、建物の案内図と点字を組み合わせたもの。わかりやすく書かれていて、見える人にも便利です。

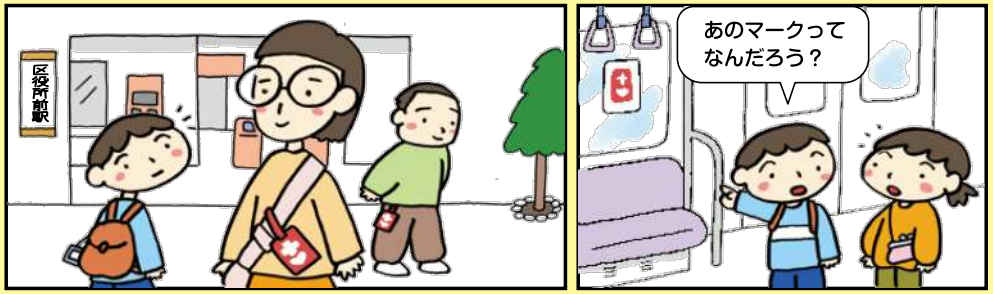
手話通訳者

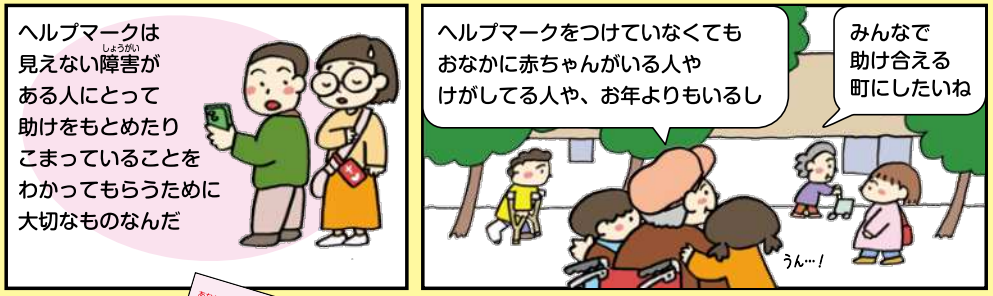
聞こえない人と、聞こえる人のコミュニケーションを手話でお手伝いします。

音声コード

←左の二次元コードは、せん用のアプリで読みこむと、文を読み上げてくれます。目の見えない人にとって大切なじょうほうです。

ヘルプマークってなんだろう？

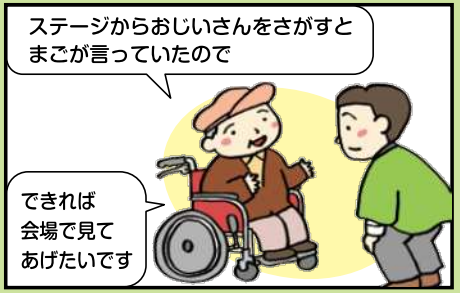


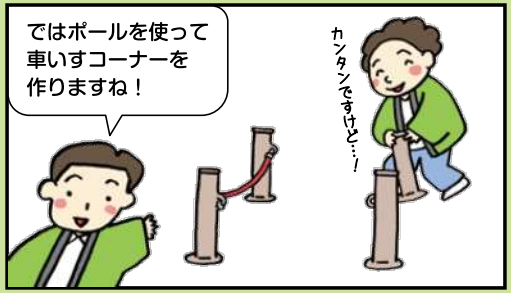


こまっていることや
障害、病気のことを
くわしく書いて持ち歩ける
ヘルプカードもあるニャ

ヘルプマーク、ヘルプカードは
まちづくりセンター、図書館、
区役所でもらえます。
問い合わせ先はうら表紙に
あります。

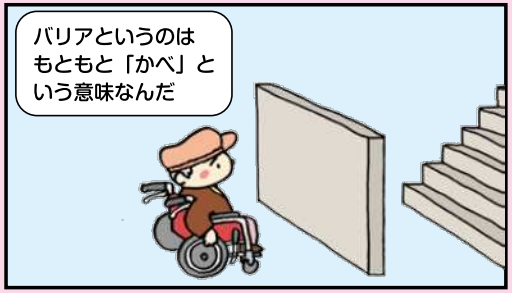
話し合ってくふうしよう





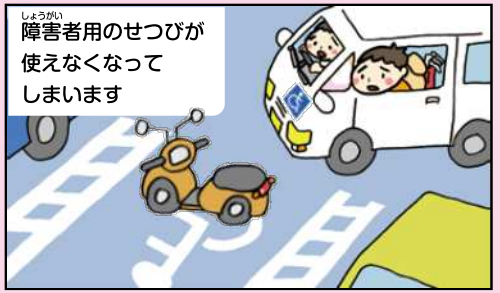
スタッフは、車いすに乗っているおじいさんが人が多い会場に入ることがあぶなくないか
心配しています。会場でダンスを見たいというおじいさんの希望をかなえるため、
話し合い（建設的対話）をしました。その結果、ポールで車いすコーナーを作ってスタッフが
つきそってくれることになりました（合理的配慮）。
障害のある人がしたいことをできるよう、話し合って考えて、工夫することが大切です。

心のバリアについて考えよう



無関心＝自分には関係ないことと思って、知ろうとしないこと

軽べつ＝ばかにしたり、見くだしたりすること



ひとりひとり、
大切な命